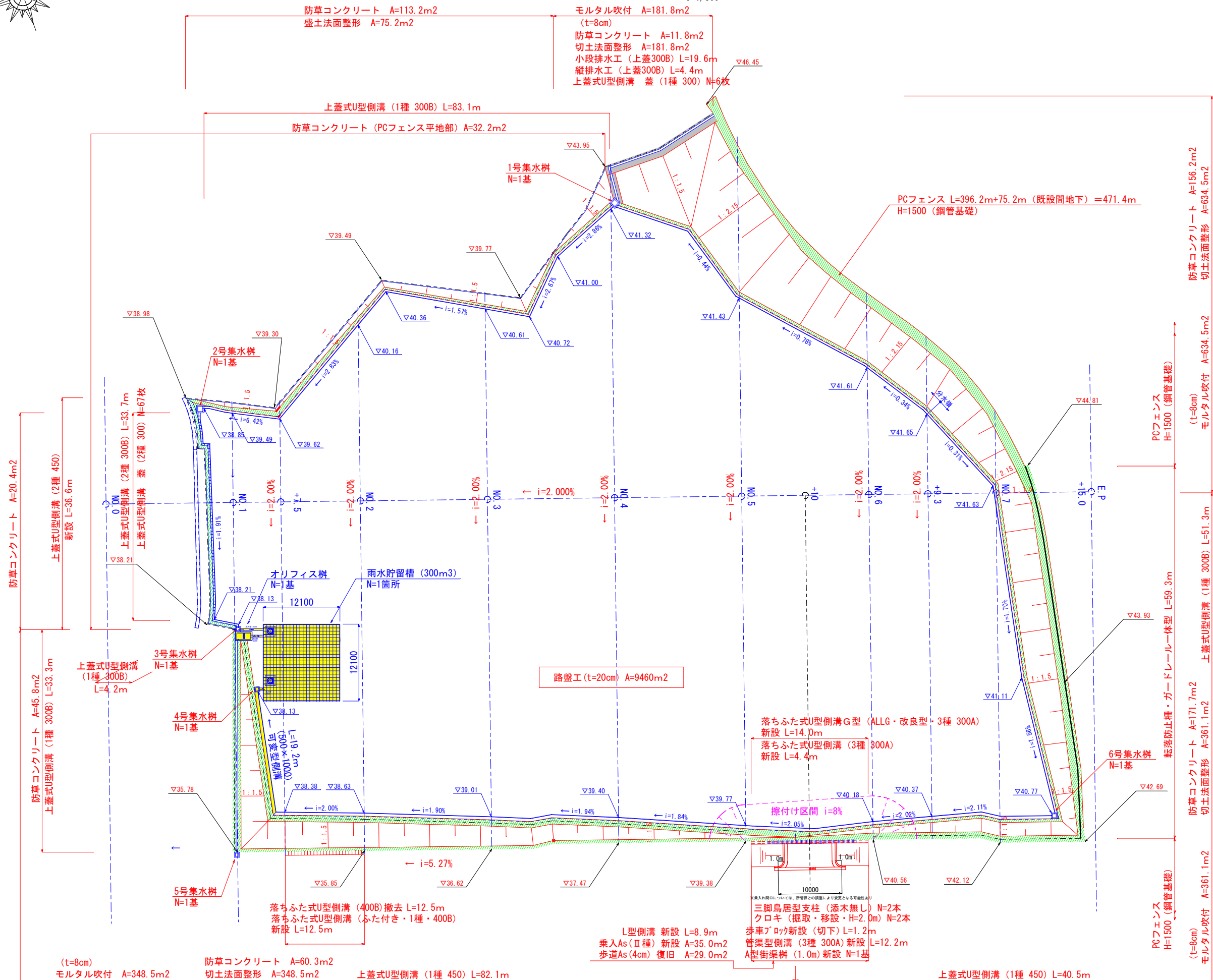


# 造成平面図

S=1/300



防草コンクリート A=20.4m<sup>2</sup>  
 上蓋式U型側溝 (2種 450) 新設 L=36.6m  
 防草コンクリート A=45.8m<sup>2</sup>  
 上蓋式U型側溝 (1種 300B) L=33.3m  
 防草コンクリート A=113.2m<sup>2</sup>  
 盛土法面整形 A=75.2m<sup>2</sup>  
 防草コンクリート (PCフェンス平地部) A=32.2m<sup>2</sup>  
 上蓋式U型側溝 (1種 300B) L=83.1m  
 防草コンクリート A=60.3m<sup>2</sup>  
 盛土法面整形 A=348.5m<sup>2</sup>  
 上蓋式U型側溝 (1種 450) L=82.1m  
 モルタル吹付 (t=8cm) A=348.5m<sup>2</sup>  
 防草コンクリート A=156.2m<sup>2</sup>  
 切土法面整形 A=634.5m<sup>2</sup>  
 上蓋式U型側溝 (1種 300B) L=76.5m  
 PCフェンス H=1500 (鋼管基礎) A=634.5m<sup>2</sup>  
 モルタル吹付 (t=8cm) A=634.5m<sup>2</sup>  
 上蓋式U型側溝 (1種 300B) L=76.5m  
 防草コンクリート A=171.7m<sup>2</sup>  
 切土法面整形 A=361.1m<sup>2</sup>  
 上蓋式U型側溝 (1種 300B) L=51.3m  
 上蓋式U型側溝 (1種 300B) L=59.3m  
 防草コンクリート A=361.1m<sup>2</sup>  
 切土法面整形 A=361.1m<sup>2</sup>  
 上蓋式U型側溝 (1種 450) L=40.5m  
 PCフェンス H=1500 (鋼管基礎) A=361.1m<sup>2</sup>  
 モルタル吹付 (t=8cm) A=361.1m<sup>2</sup>

防草コンクリート A=113.2m<sup>2</sup>  
 盛土法面整形 A=75.2m<sup>2</sup>

モルタル吹付 A=181.8m<sup>2</sup>  
 (t=8cm)  
 防草コンクリート A=11.8m<sup>2</sup>  
 切土法面整形 A=181.8m<sup>2</sup>  
 小段排水工 (上蓋300B) L=19.6m  
 縦排水工 (上蓋300B) L=4.4m  
 上蓋式U型側溝 蓋 (1種 300) N=6枚

PCフェンス L=396.2m+75.2m (既設間地下) =471.4m  
 H=1500 (鋼管基礎)

路盤工 (t=20cm) A=9460m<sup>2</sup>

落ちふた式U型側溝G型 (ALLG・改良型・3種 300A)  
 新設 L=14.0m  
 落ちふた式U型側溝 (3種 300A)  
 新設 L=4.4m

三脚鳥居型支柱 (添木無し) N=2本  
 クロキ (掘取・移設・H=2.0m) N=2本  
 歩車ブロック新設 (切下) L=1.2m  
 管渠型側溝 (3種 300A) 新設 L=12.2m  
 A型街渠樹 (1.0m) 新設 N=1基

落ちふた式U型側溝 (400B) 撤去 L=12.5m  
 落ちふた式U型側溝 (ふた付き・1種・400B)  
 新設 L=12.5m

(t=8cm)  
 モルタル吹付 A=348.5m<sup>2</sup>

防草コンクリート A=60.3m<sup>2</sup>  
 切土法面整形 A=348.5m<sup>2</sup>

L型側溝 新設 L=8.9m  
 乗入As (II種) 新設 A=35.0m<sup>2</sup>  
 歩道As (4cm) 復旧 A=29.0m<sup>2</sup>

上蓋式U型側溝 (1種 450) L=40.5m

工事名	八重瀬町・与那原町学校給食センター 敷地造成設計業務委託		
図面名	造成平面図		
作成年月日	令和7年12月		
縮尺	S=1/300	図面番号	1 / 17
事業者名	八重瀬町・与那原町学校給食センター協議会		

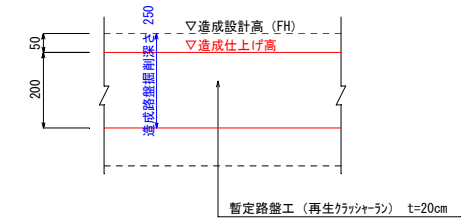
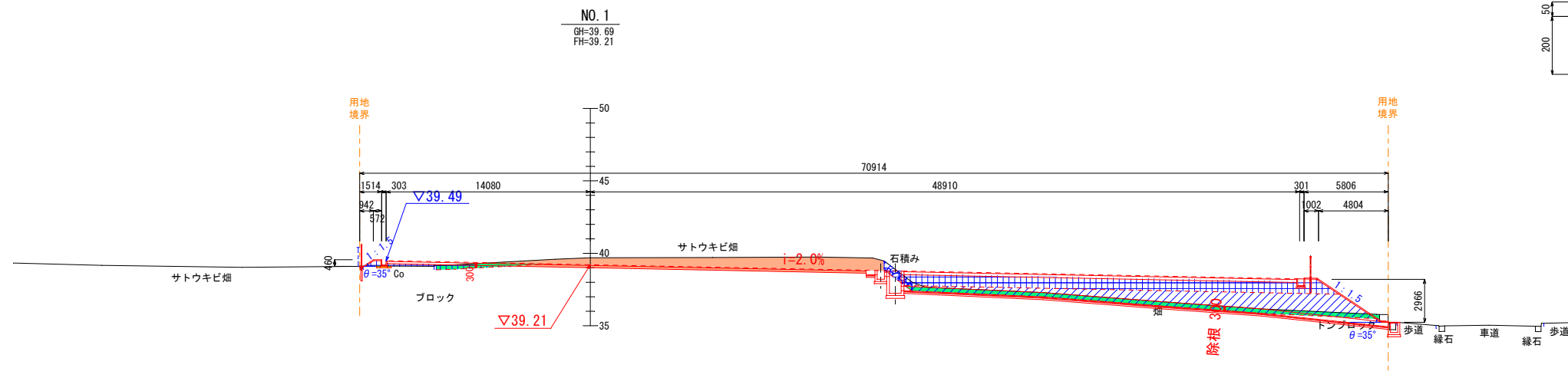


# 造成横断図 (1)

S=1/200

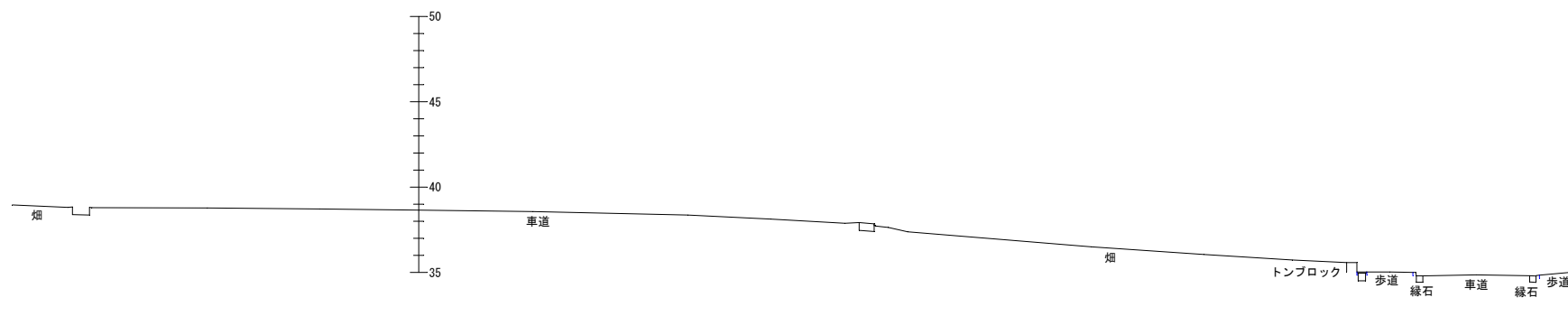
## 路盤工 (t=20cm)

S=1/10



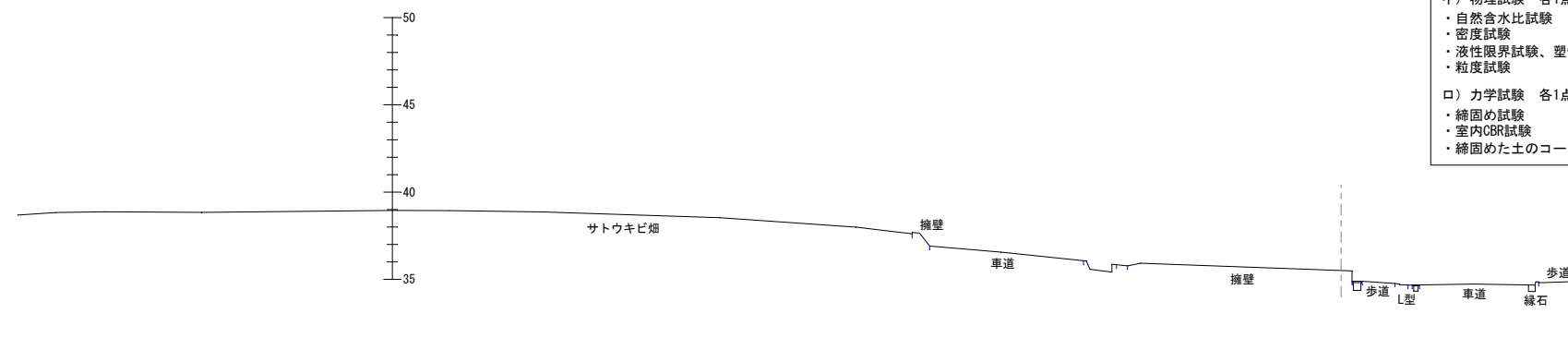
### NO. 0+11.00

GH=38.65  
FH=



### BP

GH=38.95  
FH=



盛土材・埋戻材は以下の試験を実施し、CBR3以上、コーン指数第3種発生土以上を確認すること。

- イ) 物理試験 各1点
  - ・自然含水比試験
  - ・密度試験
  - ・液性限界試験、塑性限界試験
  - ・粒度試験
- ロ) 力学試験 各1点
  - ・締固め試験
  - ・室内CBR試験
  - ・締固めた土のコーン指数試験

#### 凡例

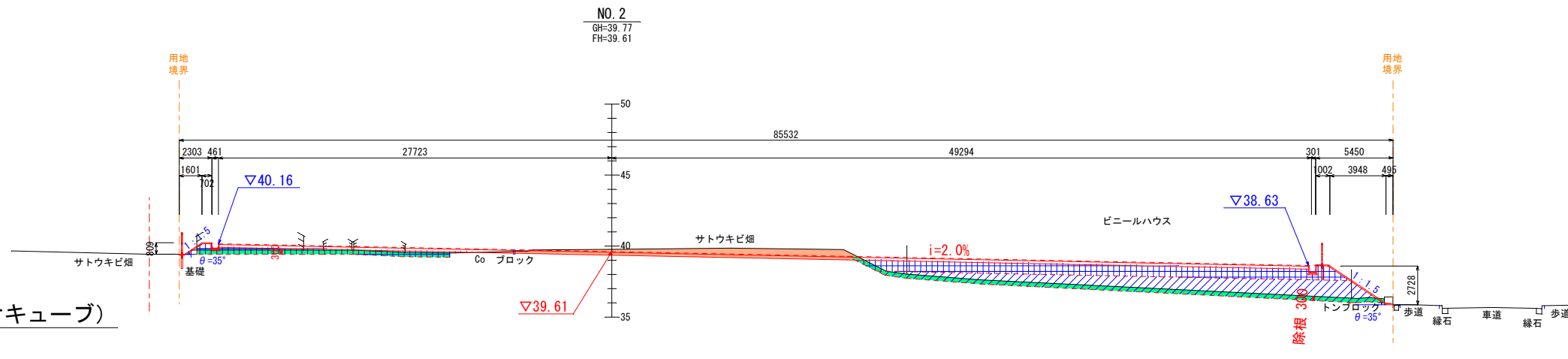
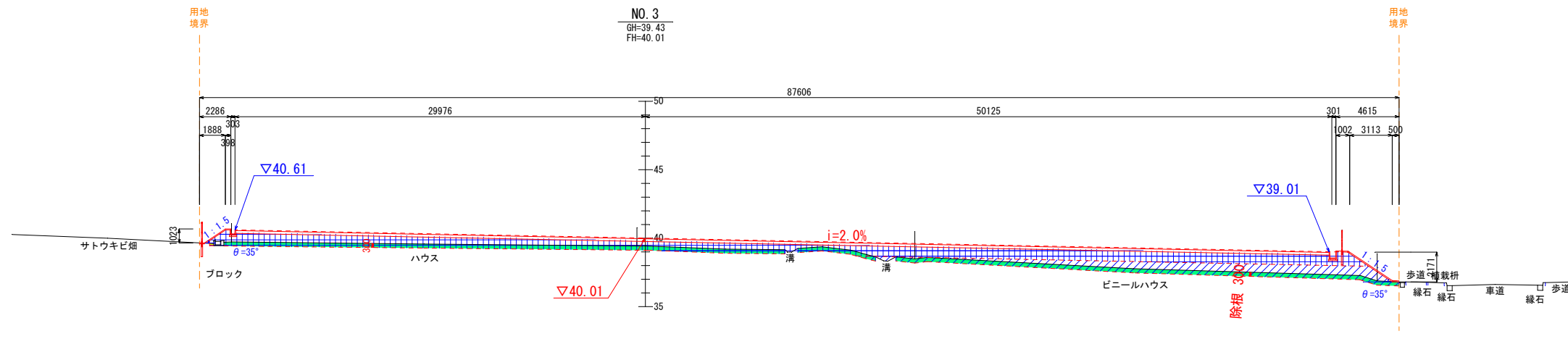
工種	記号
切土	C
路床盛土	B1
盛土 (4.0m<W)	B2
床掘 (W=1m<2m)	CF
埋戻 (W1<1.0m)	BF
除根 (30cm)	C1

埋戻はφ25°以上の埋戻材とする。  
路床盛土はφ25°以上の良質材から選定すること。  
路床盛土はCBR3以上とする。

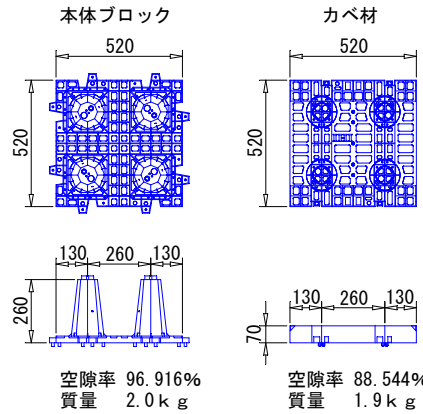
工事名	八重瀬町・与那原町学校給食センター 敷地造成設計業務委託		
図面名	造成横断図 (1)		
作成年月日	令和7年12月		
縮尺	S=1/200	図面番号	3 / 17
事業者名	八重瀬町・与那原町学校給食センター協議会		

# 造成横断図 (2)

S=1/200

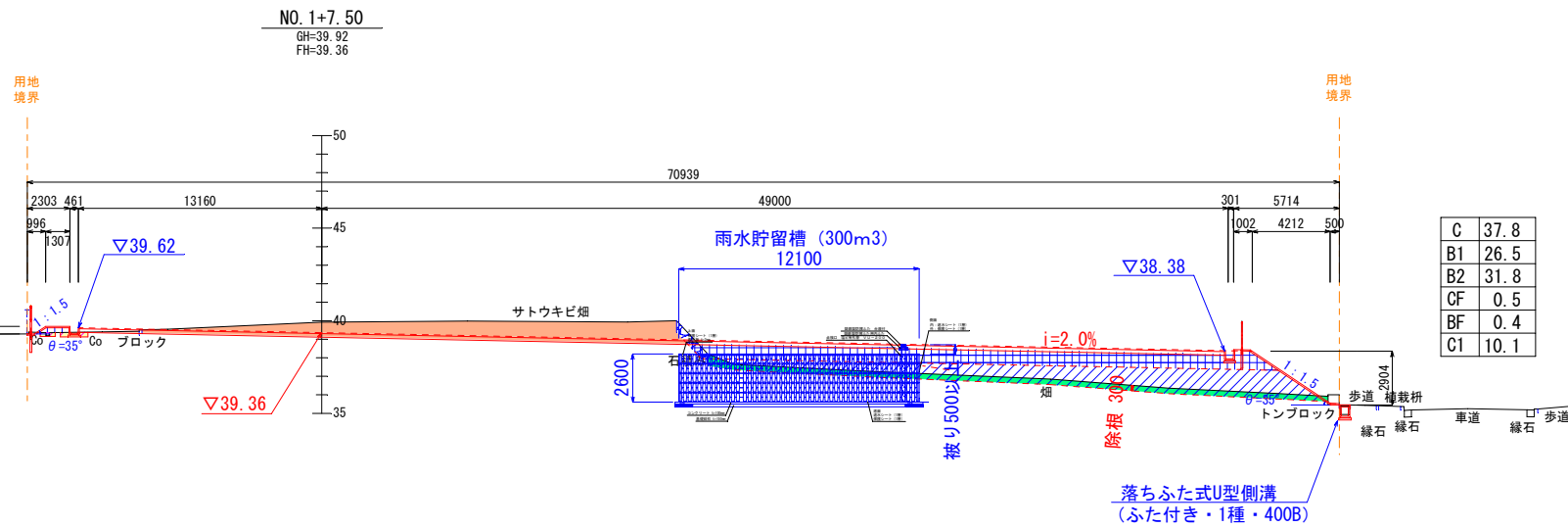


## プラスチック製貯留材 (サンジオキューブ)



- 注記事項
- 製品説明書を含わせてご確認ください。
  - 貯留構造体から外周50cmを作業幅として確保してください。
  - 雨水貯留施設と流入出樹との距離は1m以上を確保してください。
  - 槽高を変更した場合はオリフィス孔の大きさを算定し直してください。

- 確認事項
- 残土の仮置き、盛土は禁止となります。
  - クレーン作業は禁止となります。
  - 建物からの離れを確認してください。  
(建物基礎荷重は影響を受けないものとしてください)
  - 地下水位の高さを確認してください。
  - 流入管の高さ、位置を確認してください。
  - パイプ類の設置位置は現場あわせとします。
  - 流出管 (オリフィス) の高さ位置を確認してください。



凡例

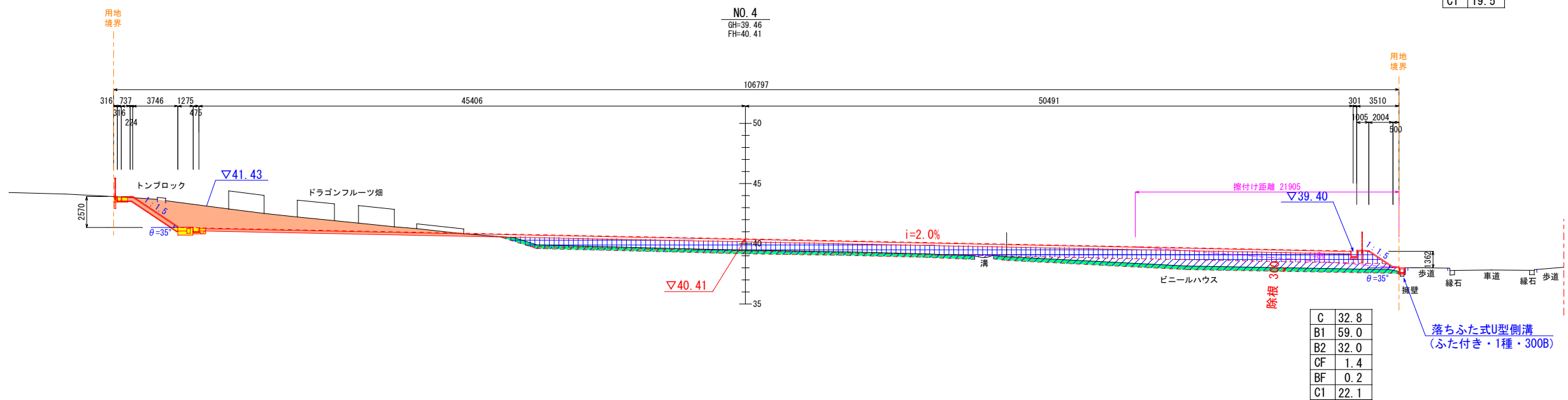
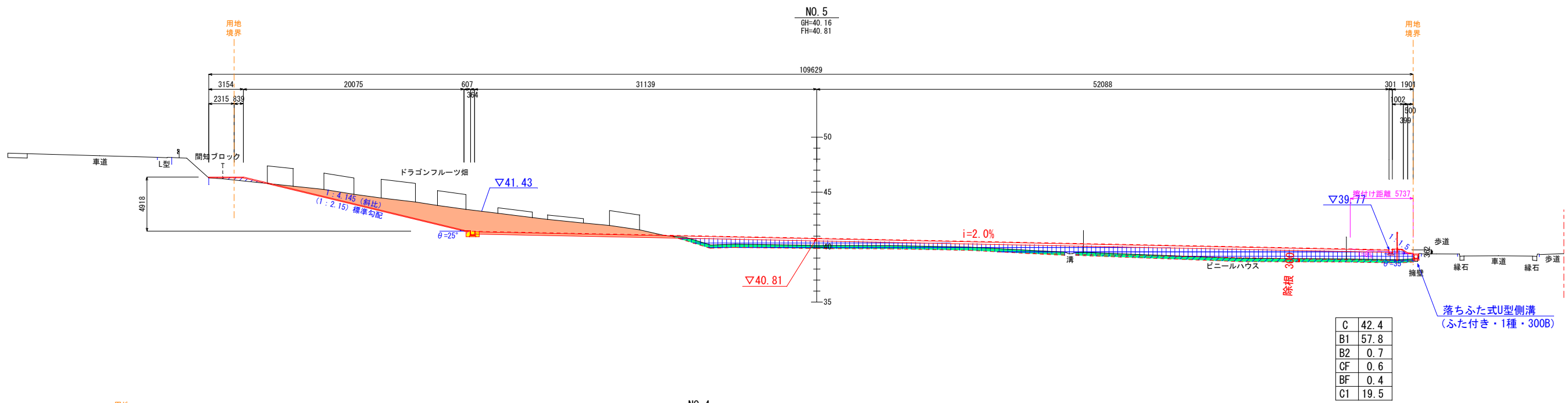
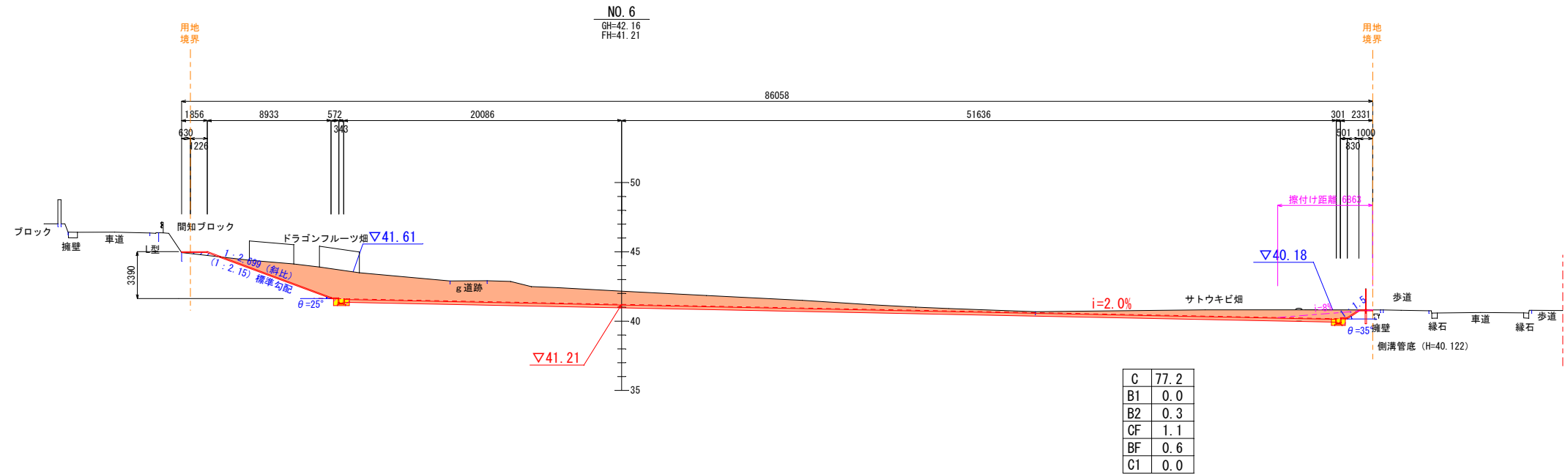
工種	記号
切土	C
路床盛土	B1
盛土 (4.0m<W)	B2
床掘 (W=1m<2m)	CF
埋戻 (W<1.0m)	BF
除根 (30cm)	C1

埋戻はφ25°以上の埋戻材とする。  
路床盛土はφ25°以上の良質材から選定すること。  
路床盛土はCBR3以上とする。

工事名	八重瀬町・与那原町学校給食センター 敷地造成設計業務委託		
図面名	造成横断図 (2)		
作成年月日	令和7年12月		
縮尺	S=1/200	図面番号	4 / 17
事業者名	八重瀬町・与那原町学校給食センター協議会		

# 造成横断図 (3)

S=1:200



凡例

工種	記号
切土	C
路床盛土	B
盛土 (4.0m<W)	B2
床掘 (W=1m<2m)	CF
埋戻 (W<1.0m)	BF
除根 (30cm)	C1

埋戻はφ25°以上の埋戻材とする。  
路床盛土はφ25°以上の良質材から選定すること。  
路床盛土はCBR3以上とする。

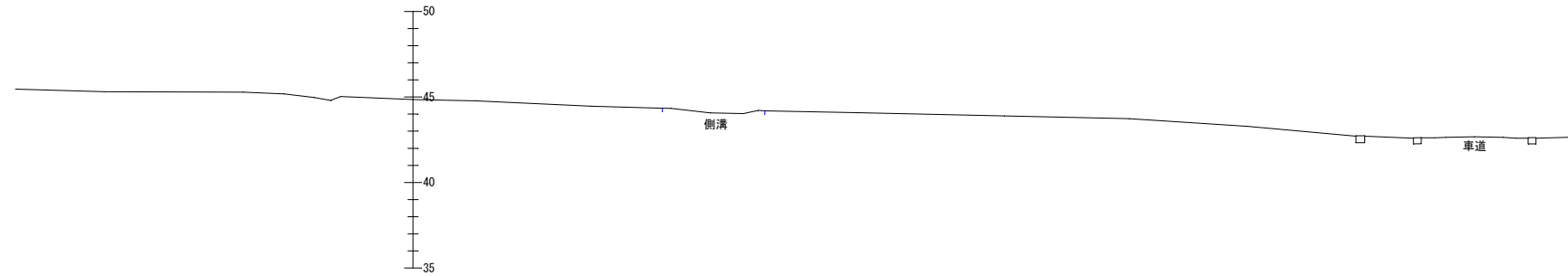
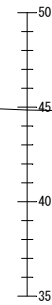
工事名	八重瀬町・与那原町学校給食センター 敷地造成設計業務委託		
図面名	造成横断図 (3)		
作成年月日	令和 7 年 12 月		
縮尺	S=1/200	図面番号	5 / 17
事業者名	八重瀬町・与那原町学校給食センター協議会		

# 造成横断図 ( 4 )

S=1:200

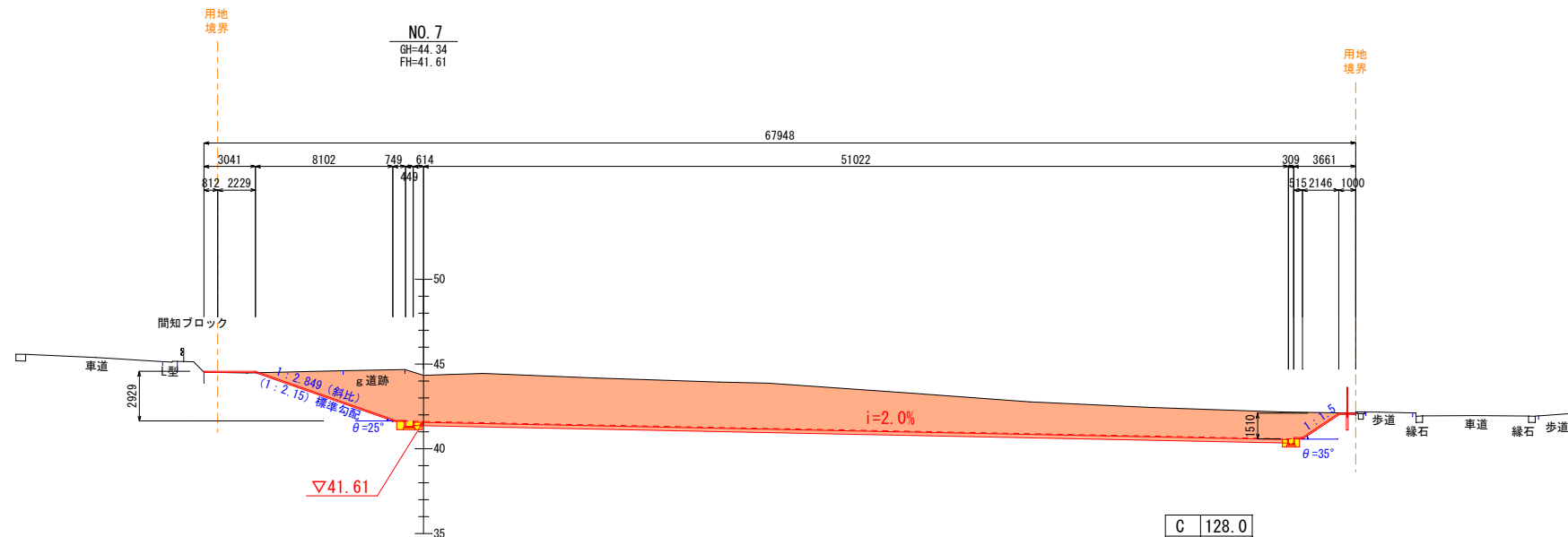
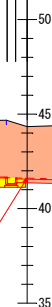
NO. 7+15.00

EP  
GH=44.85  
FH=



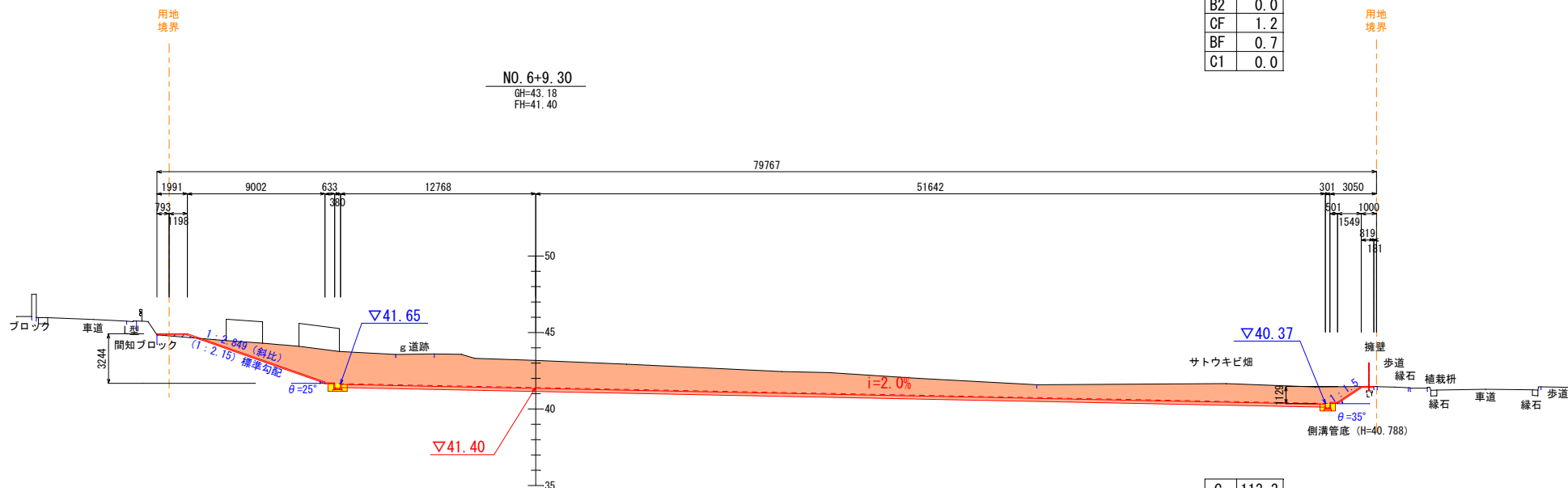
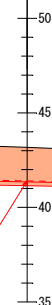
NO. 7

GH=44.34  
FH=41.61



NO. 6+9.30

GH=43.18  
FH=41.40



## 凡例

工種	記号
切土	C
路床盛土	B1
盛土 (4.0m<W)	B2
床掘 (W=1m<2m)	CF
埋戻 (W<1.0m)	BF
除根 (30cm)	C1

埋戻はφ25°以上の埋戻材とする。  
路床盛土はφ25°以上の良質材から選定すること。  
路床盛土はCBR3以上とする。

工事名	八重瀬町・与那原町学校給食センター 敷地造成設計業務委託		
図面名	造成横断図 ( 4 )		
作成年月日	令和 7 年 12 月		
縮尺	S=1/200	図面番号	6 / 17
事業者名	八重瀬町・与那原町学校給食センター協議会		

# 給配水管施設任意図



1/1,500



出力: 令和7年10月30日

南部水道企業団